

「電力技術」 指導項目 (1) 発電

単元の目標 発電

〔単元の目標〕

- (1) 発電について環境保全、省資源及び省エネルギーに配慮した発電方法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) 発電方式の概要と特徴や発電の原理、方法、構成及び特性に着目して、発電に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。
- (3) 発電について自ら学び、エネルギーや資源の効率的な電気エネルギーへの変換に主体的かつ協働的に取り組む。

「〔指導項目〕ごとの評価規準」の考え方を踏まえ、具体的な学習活動から目指すべき学習状況としての生徒の姿を想定し、単元の評価規準を作成する。

単元 発電 の評価規準

学 習 指 導 要 領 解 説	知識及び技術	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	発電について環境保全、省資源及び省エネルギーに配慮した発電方法を踏まえて <u>理解している</u> とともに、 <u>関連する技術を身に付けている</u> 。	発電方式の概要と特徴や発電の原理、方法、構成及び特性に着目して、発電に関する課題を <u>見いだす</u> とともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を <u>検証し改善している</u> 。	発電について自ら学び、エネルギーや資源の効率的な電気エネルギーへの変換に主体的かつ協働的に <u>取り組もうとして</u> いる。

単元の評価規準を学習活動に即して具体化

知識及び技術	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各発電方式の特徴や課題を環境保全、省資源・省エネルギーの観点から理解している。</li> <li>・各発電における電力量・効率等を計算により導き出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を示しながら最適な発電方法やこれからのエネルギーのあり方を考察することができる。(創造力・発想力)</li> <li>・自己の考察を根拠を示しながら他者に伝えようとすることができる。(表現力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題を通じて、電気エネルギーへの変換の方法を主体的かつ協働的に見付けだそうとしている。(協働性・コミュニケーション力)</li> <li>・取り組みへの自己評価を行う。課題の解決に向かい粘り強く取り組もうとしている。(回復力)</li> </ul>